

■ 科学技術功労賞

いまとけいいち

今本啓一 東京理科大学 工学部第二部建築学科 教授

歴史的鉄筋コンクリート造建築物の保存方法の構築

20世紀初頭に技術導入された鉄筋コンクリート造建築物は築100年を超えて現存しているものもあり、歴史的・文化的価値を与えられた建物も少なくない。今後、こうした建築物を後世に残す上で、適切な耐久性診断および保存方法を開発することは非常に重要である。鉄筋コンクリート造建築物の典型的な劣化として、鉄筋を保護するコンクリートのアルカリが二酸化炭素と反応して消失し、鉄筋が腐食する中性化と呼ばれる現象がある。本研究では、耐久性診断として、コンクリートの表層品質を非破壊的な手法により評価し、躯体の損傷を最小限とする方法を提案した。また保存方法として、経年により腐食が進行する鉄筋に対して、主として水の作用に着目した外観維持型の改修方法を提案した。

今本氏の研究は、今後の鉄筋コンクリート造建築物の保存のための重要な技術を包括するものであり、その社会的貢献は高い。

(推薦団体：東京理科大学)

(所属・肩書は受賞決定当時 敬称略)